

♡ 平成24年4月、兵庫医科大学病院は開院40周年を迎えます ♡



CREATEとは、①口の清掃(Cleaning)、②口の機能の低下を予防・回復するためのリハビリ(Rehabilitation)、③歯みがきの方法などの指導・教育(Education)、④口の状態の評価(Assessment)、⑤歯科治療(Treatment)、の5つの条件が揃えば、⑥口から美味しく食べる(Eat)ことを達成できます、というオーラルマネジメント(≡口腔管理)の概念を示すものです。



避難所での口の清掃：
本院歯科口腔外科からも派遣



東日本大震災で避難所となった体育館

健康は健口から!!

〜 平時にも有事にもお口のケアを〜



兵庫医科大学 歯科口腔外科
岸本 裕充准教授

■口は大切!

口は、食べる、呼吸する、話す、など、人間が生きていく上で非常に重要な役割・機能を担っています。したがって、むし歯や歯周病、口内炎などで口が健康でなくなる

と、全身の健康にも悪影響を及ぼすことは、皆さんも実感されることがあるでしょう。動物では、歯を失くすことは死を意味しますが、人間では義歯を入れるなど、歯を治療することで、噛めるようにすることが出来ます。では、歯が揃っていたら大丈夫なのでしょう?

医学の進歩によって、チューブで栄養を注入したり、人工呼吸器を装着することによって、生命の維持が可能となりました。こうい

う時、それまで「常に使い続けている口が使われなくなっていること」を忘れがちです。ひと昔前は、医療従事者でも「食べていないので歯みがきをしなくても良い」と思っている人がいたくらいです。現在では、歯だけではなく「口」を使わな

い時こそ清潔に保ち、さらには刺激して動かすことが大切であることがわかってきました。口を「寝たきり」にしてはいけません。

■震災の教訓を活かしましょう!
私たちは阪神・淡路大震災を経験し、昨年の東日本大震災からも1年が経過しました。そう遠くない将来に、東南海・南海大地震が起これると予想されています。これまでに経験した災害の教訓を活かし、今後の「減災」につなげる努力が必要ですので、口に関連する教訓を、この場を借りてお伝えします。

それは「口を清潔に保ち、肺炎を予防しましょう」です。阪神・淡路では、6,000名以上の尊

い命が失われましたが、そのうち約1,000名が「震災関連死」として認定されています。これは、

王死や焼死のような直接死ではなく、「震災という特殊な事態が発生していなければ助かった可能性のある死」を指し、避難所での不自由な生活などが原因で持病が悪化した、というものです。震災関連死の約4分の1を肺炎が占め、阪神・淡路の当時は、「避難所肺炎」と言われたりしました。災害時に限らず平時においても介護を要する高齢者が肺炎で亡くなる頻度は高い

のですが、高齢者の肺炎の予防に、口を清潔に保つことが有効であることがわかってきたのです。

東日本大震災の後には、多くの歯科関係者が肺炎予防に協力できるような支援活動に参加し、一定の成果を上げています。当初避難所では「津波で義歯を失った」方も多少はいましたが、むしろ「むし歯や歯周病、義歯の破損を放置したままの高齢者」が目立ち、食べることに支障を来し、栄養障害から体力が低下、さらに食べられなくなる、

という悪循環に陥ってしまうような状況にあったようです。平時には、むし歯などの口の問題を放置していても調理の工夫などで何とかしのいでいたところが、避難所で提供されるものは食べられない(食べにくい)、食べづら(い)というわけです。

■病院での療養生活でも同じ
病気やケガも、しばしば突然何の前触れもなくやってきます。全身麻酔で手術を受け、しばらくの間、口から食べられない場合があり、口を使わず不潔にしていると肺炎を起す危険性が高まります。また、栄養が良くないと傷などの回復も遅れがちです。できれば口からきちんと食べたいところです。

災害時でもそうですが、口の状態が良くないと、病院での療養生活にも支障を来す可能性があります。普段から口の問題を解決しておくことがはるかに重要です。また、口腔ケアが重要なポイントとして、非常にホットな話題として、本年4月からの平成24年度診療報酬改定で、「周術期の口腔機能管理」という項目が新設されました。この項目は本院が他施設に先駆けて取り組んできた口へのサポートの重要性が高く評価された結果だと思えます。「周術期」と

は手術を受ける前後を意味しますが、例えば消化器系の手術等では手術の前日から食事が摂れなくなる程度が確認できるまでは口から食事や飲み物を摂れないことがあります。そのような患者さんの口を清潔に保つことで肺炎を予防し、口から食べられるようにすることを歯科が管理するのです。

■特定機能病院の歯科口腔外科の役割
高度で先進的な治療を担う特定機能病院の歯科口腔外科として、大きく2つの役割を担っています。1つは、耳鼻科、形成外科、放射線科、麻酔科、集中治療部、リハビリテーション部などと緊密に連携協力して、他の施設では対応の難しい「口腔がんの治療」に取り組み、良好な成績をあげています。もう1つは、消化器のがんや心臓などの大手術、白血病などに対する骨髄移植のような、兵庫医科大学病院でなければ難しい治療を受ける方の口へのサポートです。手術等が成功しても、肺炎などの合併症を起したり、口から食べられないと、回復が遅れるためです。

NEWS vol.19で太城病院長から「2人主治医制」の提案がありましたように、歯科口腔外科でも本院に入院される患者さんへの迅速な対応を優先するため、口腔の状態が落ち着きましたら、地域の「かかりつけ歯科」への受診をお願いしています。歯・口腔の問題だけでなく、手術等を受けられる患者さんを一人でも多くサポートするために、みなさまのご理解・ご協力をお願いいたします。



内視鏡 センター

消化管疾患の診断に内視鏡検査は欠かせないものです。以前はバリウムによる胃や大腸の検査が行われていましたが、バリウムは病変の影を見る検査のためどうしても診断精度が内視鏡検査と比べて落ちてしまいます。大病院では精密検査を行うことが多いこともあり、もっぱら内視鏡検査が行われています。ただ見るのではなく、最近では粘膜内の血管の走行から癌診断を行う特殊な内視鏡診断技術を併用することも増えてきています。実際、食道・胃や大腸の内視鏡検査で初期のがんが見つかることが非常に多くなっています。ただ内視鏡検査はつらいというイメージ

がある方が多いのではないのでしょうか？胃カメラがつらくて苦手な人、大腸カメラが苦手の人などそれぞれですが、いずれにせよ内視鏡検査は苦しいイメージは根強いものがあります。このため細いカメラを鼻から入れる経鼻内視鏡が使用されたりしています。細い内視鏡はやはり病変の像が荒く、観察しにくいという欠点があります。そこで、兵庫医科大学の内視鏡センターでは鎮静内視鏡検査を取り入れています。少量の鎮静剤を注射して眠っているうちに検査を行うものです。鎮静剤の作用で検査のことは全く覚えていないことがほとんどですので、苦痛を感じないのです。ただ、鎮静剤の効果が完全に消失するまで(約1-2時間)は検査室で休んでいく必要があります。残念ながら現在の内視鏡センターでは検査後に休憩するベッド数の関係で一日に行える人数に制限のあることが問題ですが、一人でも多くの患者さんが楽に検査を受け

ることができるようになり、鎮静内視鏡検査を少しずつ増やしています。最近のもう一つの内視鏡のトピックは内視鏡治療です。内視鏡治療といえは吐血などの消化管出血を内視鏡で止めることを想像される方も多いかもしれませんが、今では止血よりも内視鏡を用いてポリープや癌を取ってしまおうという治療件数が増えることができるようになり、鎮静内視鏡検査を少しづつ増やしています。

かに多くなっています。特にがんの内視鏡治療は開腹手術を行う必要がなく、がんのところだけ取り除くので手術の後患者さんは痛くも痒くもないというすごい技術です。もちろん胃や大腸はそっくり残り、お腹に傷もつきません。この技術は最近特に進歩し、たとえば胃癌ならその3割程度は内視鏡治療の適応になると言われています。非常に高度な技術を要する治療なので、大学などの基幹病院でしか行っていませんが、兵庫医大ではこの中で最も難易度が高いといわれている粘膜下層剥離術を年間百数十例の食道・胃・大腸癌患者さんに行い優れた成績を残しています。内視鏡治療の対象となるのは転移の可能性のない消化管の早期癌です。これらは定期的な内視鏡検査を受けることで早期発見が可能です。ぜひ内視鏡検査を活用して頂きたいと思えます。兵庫医大の内視鏡センターは苦痛がないだけでなくレベルの高い診断技術と最新の高度な治療技術を提供することで皆様

から愛され、そして地域に貢献できる施設になるように常に進化していこうと努力を続けております。

また、近隣の診療所の閉鎖や、介護施設のスタッフ不足による誤嚥性肺炎増加など、地域の疲弊による二次的な影響が次第に非常に大きくなっていました。宮古病院は地域の中核病院として、全ての救急患者を受け入れており医師に受け入れ可否の判断機会はありません。そのため立て続けに救急車が入るなど大変厳しい状況となりました。宮古病院の医師やスタッフは、極めて多忙にもかかわらず非常に熱心に、黙々と診療にあたっており非常に感銘を受けました。医療支援が目的でしたが、むしろ多くのことを学ばせて頂いた気がします。3月で医療支援は一旦終了の事でしたが、やはり常勤医が一人でもふえることが不可欠と感じました。最後に、1週間と短い期間でしたが、我々を温かく迎えて頂いた宮古病院の方々に心より感謝申し上げます。

東日本大震災 支援活動

■整形外科 堀之内豊
2月6日〜10日、岩手県の陸前高田市へ行ってきました。

リアス式海岸の穏やかな海に支えられた漁師町。この綺麗な海がこの町の生活を一瞬にして飲み込んだなんて嘘のようでした。しかし、時が止まったかのようにまだ手つかずのままの瓦礫がその事実を静かに物語っていました。

小さなこの町は国からも県からも復興の手は一切差し伸べられていない。「県立」高田病院は名のみで、県や公からは何の援助も無く残されたスタッフと市民の強い要望で再建された病院。岩手医大からも東北大学

からも何の援助もなく独自に地方から医師が集ってなんとかやりくりしている状況。物静かで我慢強い東北独特の人柄。僕は整形外科医として赴いた。主に外来、そして仮設住宅への往診。外来では「膝ツコが痛い(痛い)ー」と訴える。僕が膝に注射をすると「ありがとう。またくる」と言ってニーツと笑って健気に0脚を引きずって帰っていくお婆ちゃん。来週も来週もきつとこの病院に足を運ぶのだろう。わずかに1週間足らずだけの滞在はむしろ僕に罪悪感さえ感じさせた。そしてこれが現実でこの現状を伝える事がせめて僕にできる事だと思いき知らされました。

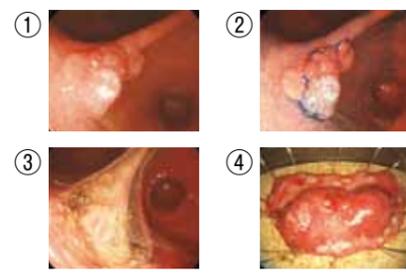
■看護部 雑賀逸平
平成24年2月24〜2月26日まで東京電力福島第一原子力発電所内(以下1F)にある5/6号機サービスマン階救急医務室(以下5/6ER)において看護活動を行いました。1F敷地内にある5/6ER

- ① 重症救急患者(外傷、ACS、脳卒中・放射能汚染患者)の評価と除染介助などに対する初期救急診療の介助
- ② Jウィレッジへの救急搬送
- ③ 一般診療の介助
- ④ 医療機器・救急車点検・薬品の管理
- ⑤ 他傷病者発生時におけるトリアージ
- ⑥ Web会議での情報提供(Jウィレッジ・福井医大・OFC医療班(災害医療アド

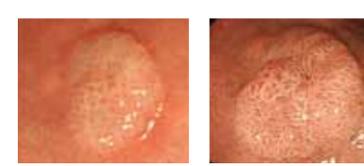
■総合診療科 團野大介
3月4日から1週間、岩手県立宮古病院で医療支援を行う機会を頂きました。宮古市は雪におおわれており、凍えるほど寒く感じましたが、それでも3月に入って随分温かくなったとのことでした。

業務内容は、主に内科外来診察と、それ以外の時間を救急外来のサポートでした。震災から1年がたち、震災による直接の病状悪化などは少なく、病院内は表面上、落ち着きを取り戻しているようでした。しかし、50人ほどいた医師は、30人ほどに減少しており常勤医は多忙を極めておりました。

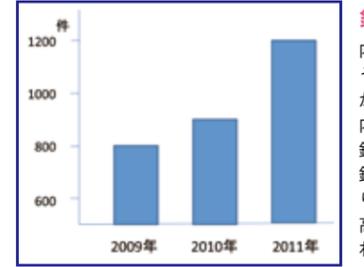
また、近隣の診療所の閉鎖や、介護施設のスタッフ不足による誤嚥性肺炎増加など、地域の疲弊による二次的な影響が次第に非常に大きくなっていました。宮古病院は地域の中核病院として、全ての救急患者を受け入れており医師に受け入れ可否の判断機会はありません。そのため立て続けに救急車が入るなど大変厳しい状況となりました。宮古病院の医師やスタッフは、極めて多忙にもかかわらず非常に熱心に、黙々と診療にあたっており非常に感銘を受けました。医療支援が目的でしたが、むしろ多くのことを学ばせて頂いた気がします。3月で医療支援は一旦終了の事でしたが、やはり常勤医が一人でもふえることが不可欠と感じました。最後に、1週間と短い期間でしたが、我々を温かく迎えて頂いた宮古病院の方々に心より感謝申し上げます。



最新の内視鏡的治療(粘膜下層切開剥離術)による早期胃癌の治療
当院では内視鏡を用いた胃癌治療を積極的に行っています。ここに示す写真はその一例です。
① 胃角部に隆起型の早期胃癌をみとめます。
② 特殊な色素を散布することにより切除範囲をしっかりと決めます。
③ 内視鏡手術(粘膜下層剥離術)によって胃癌部分を取り去った後の内視鏡像。取り去った後の一部に胃の筋肉層が露出しています。
④ 内視鏡によって切除した胃癌。この標本を病理で詳しく調べて内視鏡治療が成功したことを最終的に確認します。



最新の診断技術のNBI画像による早期胃癌の診断
NBI画像は内視鏡光源の波長を調節することによって胃の深部の血管の走行を画像化したもので、胃癌を効率的に発見する手法として注目されています。当院でも積極的に取り入れている診断手技です。左は通常の内視鏡像、右はNBIによる内視鏡像です。



鎮静内視鏡検査は診断力に優れていますが、苦痛を伴うため検査を躊躇される患者さんがおられることが問題でした。当センターでは患者さんに少しでも内視鏡検査を楽に受けていただくよう、鎮静内視鏡を積極的に推進しています。この3年間をみても鎮静内視鏡件数が急速に増加していることがわかります。鎮静内視鏡をさらに普及させ、誰もが楽に高いレベルの診断を受けられるようにすることがわれわれの願いです。

特別病棟開棟のご案内

兵庫医科大学病院では、患者さんに、より良い療養環境を提供させていただくため、平成24年3月より1号館12階に特別病棟を開棟いたしました。



この病棟の病室はすべて個室となっており、各病室には液晶テレビ、DVDプレイヤー、冷蔵庫、電子レンジを配備しております。また、他の病棟では病室内ではご遠

慮いただきいております携帯電話、パソコンをご利用いただける環境とさせていただきます。

12階の病室へは、専用のカードで出入りいただくよう、セキュリティも完備しております。

特別室での療養をご希望の方は、担当医にお申し出ください。よろしくお願いいたします。

※1 診療上の理由により携帯電話等のご利用をお控えいただくことがあります。



S室 (2)	室料	42,000円	
	面積	58.50㎡	
主な設備		47型液晶テレビ、DVDプレイヤー、簡易キッチン、ダイニング冷蔵庫、電子レンジ、応接ソファ、ドレッサー、金庫付床頭台、ロッカー 他	

A室 (5)	室料	31,500円	
	面積	39.00㎡	
主な設備		47型液晶テレビ、DVDプレイヤー、簡易キッチン、冷蔵庫、電子レンジ、応接ソファ、ドレッサー、ロッカー 他	

B室 (9)	室料	24,150円	
	面積	27.00㎡	
主な設備		液晶テレビ、DVDプレイヤー、簡易キッチン、冷蔵庫、電子レンジ、ロッカー 他	

C室 (4)	室料	21,000円	
	面積	19.50㎡	
主な設備		液晶テレビ、DVDプレイヤー、簡易キッチン、冷蔵庫、電子レンジ、ロッカー 他	

※ お部屋タイプの()内は部屋数です。
 ※ 室料は税込み表示となっております。
 ※ 室料は1日の料金となっております。1泊2日でご入院された場合、2日分の室料がかかります。
 ※ 特別室ではテレビカードは不要です。
 ※ その他、特別病棟についてのお問い合わせは、1号館1階入院受付でお問い合わせください。

急性医療総合センター

■進捗状況

平成25年6月のオープンに向け、10号館東側に「急性医療総合センター」の建設が進められております。建物は今年12月に完成予定となっております。現在は建物の各階を形成するコンクリートの打設工事が進められています。

救命センター・EICU、同じく1階には「IVR(血管内手術)センター」が配置される予定となっております。前号の19号では防震装置についてご紹介しましたが、基礎部分に設置する防震装置のほか、建物(上部構造)ができてからその建物と基礎をつなぐ装置があります。建物が少しずつ出来てきた今、新たな装置「オイルダンパー」が設置されました。もう目には見えませんが他の防震装置とともに「縁の下(力持ち)」として働いてくれています。



設置されたオイルダンパー



第4回連携病院の会

平成24年2月21日(金)17時よりノボテル甲子園において平成23年度学校法人兵庫医科大学連携病院の会が開催されました。

この会は平成21年6月に第1回目を開催し、今回で第4回目を迎えました。参加者も会を重ねるごとに増え続け、当日の出席者は学外者114名(50病院)、学内者71名の合計185名で、会場も満席となりました。



今回のテーマは「平成24年度診療報酬改定を考える」とし、田辺三菱製薬(株)谷澤正明氏より「平成24年度診療報酬改定の概

要」、東京医科歯科大学元病院長であり、現在は学校法人兵庫医科大学理事である西岡清氏より「DPCをどう使う」の演題で講演いただきました。

谷澤氏からは平成24年度診療報酬改定の説明の後、今後の急速な人口減少が社会保障制度の改革を促進させ、地域医療連携が益々重要となっていくこと、西岡氏からは中医協DPC分科会前分科会長としてのご経験を踏まえ、DPCデータを利用してどのようなことができるのか、また、医療機関別係数の今後の流れ等について説明がありました。

引き続き開催されました意見交換会にも大勢の参加があり、各病院間での活発な意見交換が行われ、お互いの連携を深めることができました。

小児外科外来

小児外科外来が4月より毎日診療を開始いたします。

小児外科の外来診療につきましては、平成24年4月2日(月)より、毎日午前と月曜・木曜の午後に診療を行うよう変更になります。各曜日の外来担当医につきましては下記医局ホームページをご覧ください。

小児外科は、新生児から15歳までの外科治療を専門とした診療部門です。鼠径ヘルニア・臍ヘルニアといった疾患に対しては日帰り手術を実施しております。

また、急性虫垂炎、腸重積症、異物誤飲といった小児救急疾患に対する診療も行っておりますので、夜間、休日問わずご連絡ください。

処方せん受付

兵庫医科大学病院、
全国の医療機関の
処方せんを
受付けております。

お薬の事など、お気軽にご相談ください。
皆様のご利用をお待ちしております。



武庫川店

【営業時間】月～金 8:30～17:30 第1・3・5土曜 8:30～13:30
【定休日】第2・4土、日、祝日
TEL.0798-44-3029 FAX.0798-44-3039



【営業時間】月～金 8:30～17:30
【定休日】土、日、祝日
TEL.0798-42-3080 FAX.0798-42-3081

武庫川駅前店

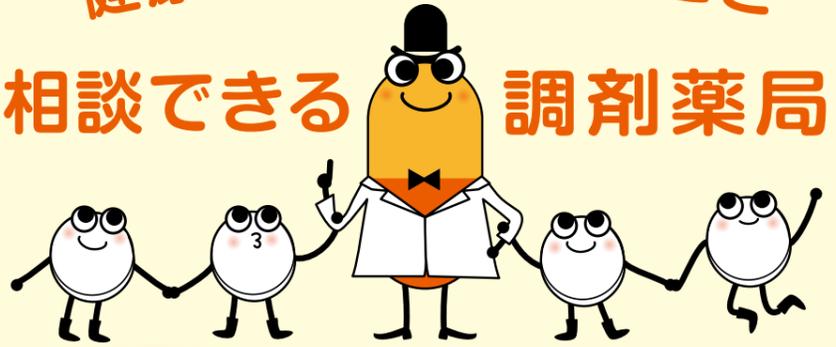
より良い医療サービスの提供がすべてです。

株式会社 阪神調剤薬局

<http://www.hanshin-dp.co.jp>

健康のこと、くすりのこと

相談できる 調剤薬局



どちらの処方せんでも
受付いたします

開局時間 月～金
8:30～17:30
土(第1・3・5)
8:30～13:30
定休日 第2・4土、
日、祝



兵庫医科大学病院 受付棟 隣り 〒663-8137 西宮市池開町 3-20
Tel:0798-44-3577
Fax:0798-41-6400

処方せん受付

N I S H I P H A R M A C Y

Nishi Pharmacy 西薬局 武庫川店

兵庫医大病院の処方せん受付致します！！

患者様のお薬に対する、不安や疑問を解決して、お薬を安心して正しく服用
して頂ける様、スタッフ一同 取り組んでおります。

お知らせ

処方せんを、お受け取りになられた後、1号館1階
院外処方せんFAXコーナーより、処方せん用紙をFAXして頂き
ますと、お薬をお渡しするまでの時間が短くなり、
大変便利です。西薬局にて、無料のFAX送信カードを
ご用意致しております。
お気軽にお申し付けくださいませ。 * 阪神武庫川駅 西口すぐ！！

西薬局 武庫川店

TEL : 0798-43-3232
FAX : 0798-43-3233

月曜～金曜 9:00～18:00
第1・3・5土曜 9:00～14:00

休日 第2・4土曜
日曜・祝日

薬局前に P アリ



兵庫医大病院、全国の病院・医院の処方せん、お受けします。

FRONTIER ワタキュー薬局 武庫川駅前店

月曜日～金曜日 9:00～18:00
第1・3・5土曜日 9:00～14:00

第2・4土曜日、日曜、
祝日はお休みです。

TEL 0798-42-6702 〒663-8131 西宮市
武庫川町2番19P-1ビル1階
FAX 0798-42-6703 無料ファックスカードをご用意しております。

あなたの健康
サポートします。
英語で、ていねいに対応いたします。
各種クレジットカードもご利用いただけます。



「くすりの話」

薬を飲む時はどれくらいの水が必要なの？

水なしで薬を飲んだり寝たまま薬を飲むと、のどや食道にひっかか
たり、誤って気管に入ることがあります。特に、カプセル剤はゼラチン
などでできていますので、のどや食道の粘膜にくっつきやすくなります。
食道に薬がとどまると、効き目が遅くなるばかりではなく、薬が溶け出
して粘膜を傷つけることもあります。また、薬によっては、胸部不快感
や吐き気、胸痛などを起こすこともあります。
飲み薬は、体を起こしてコップ一杯程度、約200mLの水かぬるま湯で飲
むのがよいとされています。あまり極端に冷たい水で飲むと胃腸を刺
激する可能性があるため避けましょう。
最近では、少量の唾液で溶けるOD錠〔口腔内崩壊錠〕も発売されており、
これらの場合は水なしで服用してもかまいません。

看護師・助産師募集

じぶんの色 きつと見つかる。

Sincerity 誠実(な行動)

Warm あたたかい(対応)

Evidence 根拠ある(実践)

Ethics 倫理(的感性)

Technique (確かな) 技術

WE SET

SWEET

心地よい療養環境・ケアの提供を目指しています

SWEETとは、私たちが心に備えたいと思う5つの要素の頭文字。
看護部ではこのキャッチフレーズのもと一丸となって、チーム医療を支えています。



兵庫医科大学病院 人材対策室
フリーダイヤル 0120-456-199

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号 看護師・助産師採用ホームページ
TEL 0798-45-6543 FAX 0798-45-6524 <http://www.hosp.hyo-med.ac.jp/nursing/recruitment/>

市民健康講座のお知らせ

開催日	テーマ	講演者
4月11日(水)	口が開かない! 閉らない!	歯科口腔外科 准教授 本田 公亮
4月25日(水)	更年期とは何?	産科婦人科 主任教授 小森 慎二
5月16日(水)	足のうらのホクロについて	皮膚科 助教 中川 登
5月30日(水)	「動脈硬化」って何? ~どのように予防するの?~	内科 内分泌・代謝科 准教授 小山 英則

開催場所・時間 10号館3階 第3会議室 15:00～16:30
申込み不要、参加費不要

お問い合わせ先 兵庫医科大学病院 地域医療・総合相談センター
電話番号: 0798-45-6035(直通)